

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

| | | | | |
|--------------|--|-----------------|----|-----------------------|
| ① 対象者 | 1994年1月1日から2014年3月31日までの間に、当院で胃癌に対して胃切除を行い、抗がん剤治療としてイリノテカンを用いた方 | | | |
| ② 研究課題名 | 胃癌における Topo1 リン酸化 S10 発現とイリノテカン感受性に関する後方視的研究（多施設共同研究） | | | |
| ③ 実施予定期間 | 承認日 ～ 2017 年 12 月 | | | |
| ④ 実施機関 | 九州大学病院 消化管外科（2） | | | |
| ⑤ 研究代表者 | 氏名 | 沖 英次 | 所属 | 九州大学病院 消化管外科（2） |
| ⑥ 当院の研究代表者 | 氏名 | 寺島雅典 | 所属 | 静岡がんセンター 胃外科 |
| ⑦ 使用する検体・データ | 電子カルテ情報、手術切除検体の病理標本（未染薄切標本） | | | |
| ⑧ 目的 | 胃癌の治療の過程においても抗がん剤を用いますが、副作用の問題も多く、現時点でどの抗がん剤をどの患者さんに用いるべきなのかはまだ分かっていない部分も多くあります。このため、抗がん剤の効果が予測できるような新しい指標「バイオマーカー」を発見することが重要となってきます。本研究はがん細胞に発現している「Topo1-pS10」という物質が、そのバイオマーカーになり得るかどうかを検討します。 | | | |
| ⑨ 方法 | 当院で胃癌に対して手術を行い、抗がん剤治療としてイリノテカンを用いた方を対象として、診療録から必要な情報を収集します。同時に、切除した胃の標本の一部をアメリカのボストン大学に送り、腫瘍の部分に「Topo1-pS10」が発現しているかどうかを染色して見てみます。その発現の強さと臨床情報を照らし合わせて様々な解析を行い、バイオマーカーとしての可能性を検討します。あらたに追加検査を行うことはありません。 | | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2017 年 1 月 23 日 | | |
| ⑪ 公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | |
| ⑫ プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。 | | | |
| ⑬ 知的財産権 | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。 | | | |
| ⑭ 利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | |
| ⑮ 資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。 | | | |
| ⑯ 問い合わせ | 連絡先 | 臨床研究事務局 | 電話 | 055-989-5222（内線 3379） |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長